



右は松尾芭蕉が『のざらし紀行』の中で詠んだ俳句です。スミレはスミレ科スミレ属の多年草で、日本には六十種が分布しています。では、芭蕉が足を止め、この句を詠んだのは何スミレだったのでしょうか？江戸深川を出発し再び江戸に戻るまでの約二千キロにもなる長い道中です。日本の国内各地で一番多く見られる、と言われるタチツボスミレではなかったでしょうか。なんとも楽しい想像です。

山路来て何やらゆかし すみれ草

芭蕉



今、ふれあいの村では・・・

♪やねよりたかいこいのぼり♪かわいいお客さまが歌いながら、こいのぼりを見上げています。今年も気持ちよさそうに泳ぐ姿を見る事ができました ◆事務所内では、「もうホタルが飛んでいるんですか！」と声が響きました。これは、ホタルはホタルでも、「ホタルカズラ（螢葛）に今年も会えた」という話題を耳にした職員の早とちりでした。この植物の花の色が赤紫から青紫色に変化する様子をホタルの光にたとえたものですが、いつもの場所に姿を確認できたのはうれしい事です ◆『ホラリ』のコースにもあるハナイカダの葉の上に、花が咲いているのを見つけました。今だけの季節限定です。村に会いに来てください。



ハナイカダ



ホタルカズラ

☆来月のファミリーコミュニケーションデー：6月4日（日）

10:00～12:00《自然観察会》雨の日でも楽しい、自然観察（無料）

13:00～15:00《フォーク絵講座》梅雨の季節を描く

（初回参加時のみ、材料費等：250円）

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村（南足柄市広町1507）

指定管理者：足柄グリーンサービス・関東学院グループ

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部

子ども教育支援課

電話：0465-72-2010 FAX:0465-72-2013

URL：<http://www.ashigara-fureai.com/>



ふれあい広場でくらし
ている金太郎と仲間たち
は、今日は「すぎのこひ
ろばのほうへいってあそぼ
う」と、みんなででかけ
ました。そばのくさち
にうしろをむいている人
がいました。「さみしそ
うだなあ」とだれかがい
いました。「おおい、ひ
とりでないで、いっしょ
にあそぼう」と声をか
けました。ふりかえった
のは、とてもせのたかい
人で「ぼくは体にどくを
もってい

いきました。すると、
だれかが、「手をつ
ながなくてもあそべ
るよ」と。それで、
みんなでいっしょにあ
そびましたとき。
『テンナンショウのな
かま』のおはなしは、
これで、おしまい。

★フィールドワーク★

自然の生活とは？

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



アメリカフウロ

「自然のたより3月号」のこのコーナーは、**ロゼット**でした。5月号では春の終わり頃の姿をご紹介します。ロゼット植物でより多く見られるのは、冬季だけその形になるものです。他に、越年して前年の終わり頃に発芽し、冬を越して春から成長するものがありますが、ロゼット葉をつける例が多いようです。冬の間は耐寒と光を受けやすいよう葉を広げる形になり、これがロゼットと呼ばれるものです。このタイプは、春になると中央部から茎が伸びるので背が高くなり、花をつけます。この時に伸びた茎にも葉を付けるものも多く、この茎に付く葉は**茎葉**と呼ばれます。茎葉は成長すると**根出葉**（根または地下茎から直接出ているように見える葉）を無くしてしまう例が多いのですが、ずっと付けているものもあります。この企画を立てた時は、「3月に撮影した場所に行けば容易いこと」と考えていました。ところが、2か月が過ぎて周囲の植物も増えて…、思いのほか大変な作業でした。



キュウリグサ (3月)



キュウリグサ (花、5月)



キュウリグサ (5月)



オランダミミナグサ



カントウタンポポ



ミチタネツクバナ